



本社工場(平成27年7月竣工)



取締役管理部 上林 直人 さん

顧客満足最優先。
常に技術を磨いています。

おしごと拝見

vol. 29

市内企業の優れた技術力や製品、
サービスを紹介します。

最新の設備と日々磨かれる技術

当社は大型製缶品から木造建築に使用する接合金物(コネクター)など、さまざまな金属製品を製造しています。CAD(立体図面作成ソフト)を駆使した設計とプラズマ加工機などによる精密加工に加え、数値化できない職人たちの溶接技術が当社の強みになっています。

特にセメント、石炭灰などの粉体の貯蔵タンクや輸送設備(スクリューコンベヤーなど)を得意としており、設計、製作、運搬、据え付け、メンテナンスまで一貫して対応することができます。

最後は手作業で生み出す高品質

スクリューコンベヤーは、らせん状の羽根が付いた軸を内蔵したパイプ構造をしており、設置する角度によつて縦横さまざまな方向に粉体などを搬送する装置です。

職人が金属板に曲げ加工を施してらせん状の羽根にして軸に溶接しますが、溶接熱により歪みが出ます。この歪みを職人が見極め、ガスバーナーで加熱すると同時に流水で冷却し、繰り返して膨張・冷却させることにより歪みを矯正します。この手作業によって、耐久性と静粛性に優れた製品を生み出しています。

【企業の概要】

沿革 昭和31年北新町にて創業、昭和32年法人化し現商号となる、平成27年現地に本社工場移転。
商号 株式会社上林鉄工所
資本金 1,000万円
住所 酒田市松美町2-15 ☎33-2233
代表者 取締役社長 上林 直樹
従業員数 20人
事業内容 各種プラント・機械設備の設計・製作・施工、工場配管・上下水道設備工事、大型木造建築用コネクター製作
ホームページ <http://www.kanba.ne.jp/>



木造建築用コネクター



スクリューコンベヤー

メンテナンスのため分解し、軸の歪みを矯正します。機械化できない、職人の経験と感覚が頼りの作業です。

酒田っ子 子育て講座

すくすく

87

これじゃないってば!

お問い合わせ
子育て支援課 ども支援係
☎2615735

東北公益文科大学教授
國眼眞理子 先生

今日は久しぶりにパパやママとお出掛けです。ママから「靴下はこうね」と言われたのに「マーちゃん、靴下イヤだ!」。暑いから帽子もかぶろうね」と言っても「これじゃない!」とお気に召しません。「じゃ、こつちにしようか」「違うの!」あれあれ?これも嫌なの。「これ、マーちゃんにお似合いなだけだな」「ほら、鏡見てごらん、かわいいでしょ」と言われても「イヤなの!」「ピンクのリボンじゃないとイヤなの!」と聞きます。「さあ、でかけるよ。ママの言う通りにしなさい」というパパの一言に「パパなんて、嫌い!」と捨てぜりふ。曲がったおへそはなかなか元に戻りません。

2歳を過ぎたころから、マーちゃんの「イヤイヤ病」が始まりました。よく「反抗期」だなんていわれますが、反抗だなんて人間の悪い。もう赤ちゃんじゃないという立派な自立宣言なのです。周りの大人にとっては厄介な時期ですが「イヤだ」「それじゃない」「自分で」の連呼が始まったら、ああ始まったなと受けとめましょう。忙しい時に限って始まるので、つい「もう勝手にしなさい」なんて言ってしまうがちですが、大人はこれに巻き込まれないことです。「これとあれ、どっちがいいかな」「マーちゃんなら上手に決められるよね」とちよつぱり持ち上げながら選ばせるとうまくいくことがあります。自分で決めたいのです。自分が選べないこと自体が嫌なのです。「イヤだ」「自分で」が始まったら、そろそろ一人立ちが始まったと喜んでください。4歳すぎには収まります。